（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和４年５月２５日（水曜日）　８時４５分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡　名		負傷　１名		職種 伐採作業員		年令 ３５才		経験年数３年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　　名］　伐倒木と伐倒木の間に腹部を挟まれ受傷

［作業内容］　鉄塔建設に伴う伐採作業

［発生状況］　作業境界付近の伐倒木の状況を確認しようとしたところ、上部より別の伐倒木が滑り落ち腹部を挟まれる。

［被災程度］　左腎損傷、右腰椎多発横突起骨折、出血性ショック

［装　　備］　作業複上下、皮手袋、地下足袋（スパイク付）、安全帽、フェイスガード

原因及び対策

［発生原因］

・伐倒木が整理されていない個所に立ち入った。

・斜面上部の伐倒木が滑り落ちた

［再発防止対策］

安全な作業環境を確保・維持するための現場管理

・班長は巡回により各作業の状況を常に把握し、危険要素(伐倒木の散乱など)を発見したときは、一旦作業を停止させ、現場管理職員と施工班間で協議のうえ対策を講じる

・今回のような傾斜30度以上の急傾斜地を含み、急傾斜地を含み、安定性を確認できない伐倒木については枝払い前に杭止めし、班長は枝払い後の伐倒木の安定性を確認する

・集積まで終了できず、斜面に枝払いした伐倒木が残る場合は、伐倒木の杭止め状況を確認した後にカラーテープ等で現地表示し危険個所の見える化を行うとともに現場作業員・施工班全員に周知する

・やむを得ず伐倒木に足をかける際は近くに他の作業員等がいないことを確認したうえで、伐倒木を揺すり安定性を確認する

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

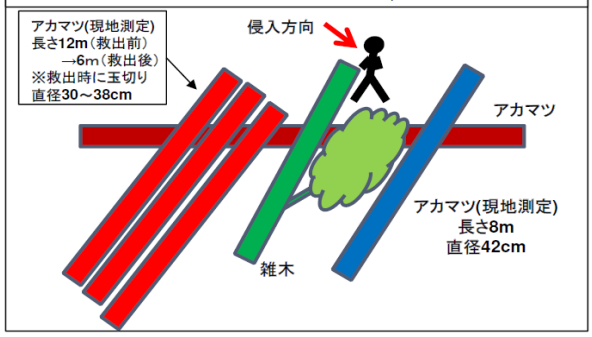
2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

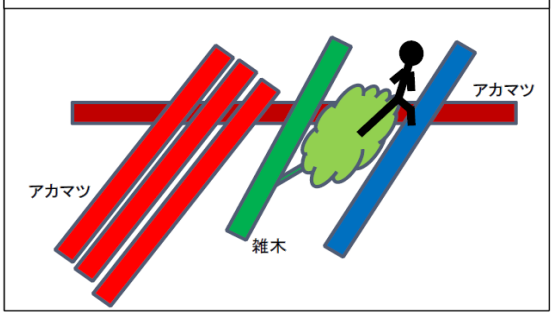
災　害　概　要　図

発生状況

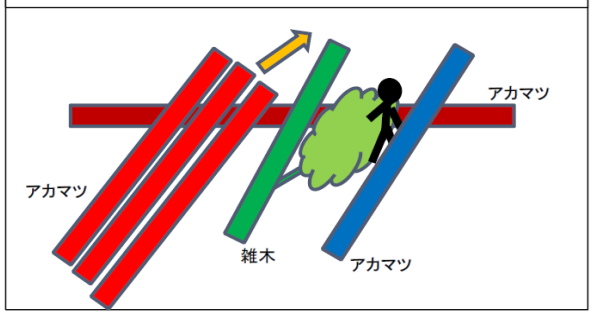
①工事用地境界付近の伐倒木の状況確認のため，矢印方向から移動した



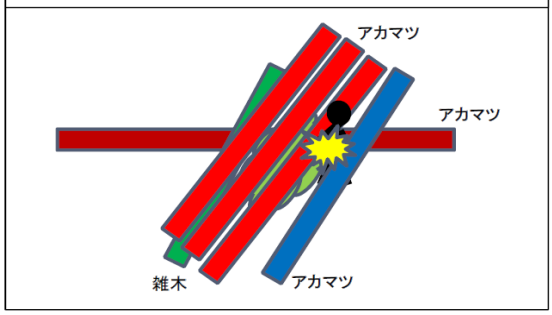
②伐倒状況確認のためアカマツに片足をかけたところ，足を滑らせ地面に落下した



③地面に落下し，雑木（緑色）とアカマツ（青色）が揺れたはずみ（想定）でアカマツ３本（赤色）が矢印方向へ滑り落ちた



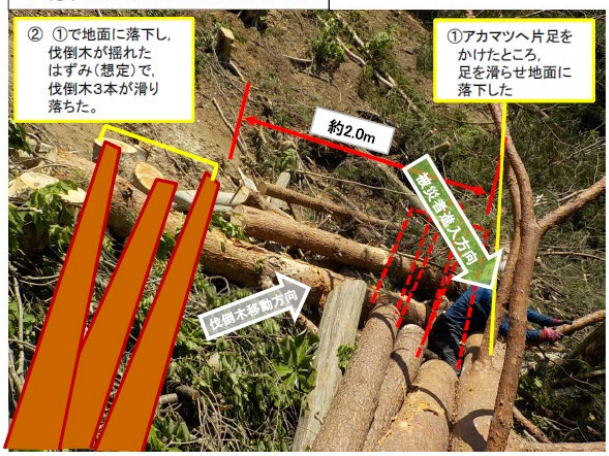
④滑り落ちたアカマツ３本（赤色）とアカマツ（青色）の間に腹部を挟まれ受傷した



遠景写真

※被災個所の傾斜は35°

近景写真【被災状況再現】



※破線で囲んだ部分は被災者救出のため伐倒木の玉切りを実施